



# 038PRESS

vol.27 新春号

宮町のイベントキャラクター  
みやまち

お み や プ レ ス



北六小の和・話・輪 フェスティバル

今季の特集  
P2~P3

## お宮町の未来を語る 新春座談会

- P4……福岡の事例から宮町を考える
- P5…… 第26回お宮町なるほどツアー
- P6…… NEWS&TOPIX (地域情報) / 仙台の町名の由来&お宮町グラフィティ
- P7…… 東京余話 vol.21 / 第27回教えて浄圓房さん!
- P8…… 学校行事予定 / Omiyamachi ほっとすペーす No.14 / ペットにまつわるワンダーランド第9回



編集

お！宮町地域情報編集局  
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号  
(東六コミュニティ・センター内)  
TEL 090-7932-5021 (千葉)

ホームページ [038 プレスへようこそ](http://038press.org)  検索

宮町商店街のホームページ  
お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>

# お宮町の未来を語る

## 新春座談会



主筆 海老一朗 委員 和田政宗 委員 三岡昭博  
手記 参議院議員 毎日新聞社

「宮町に自分たちのメディアを作ろう」。地元町内会や商店街の関係者らの間にそんな構想が持ち上がったのは今から約10年前。その後平成22年10月に地域住民による038プレスの編集局が誕生します。背景にあったのは全国各地で進む商店街の衰退、地域コミュニティの弱体化と人口減少。錨を失った船のように行く先を見通せず漂流し続ける地域社会。「明日はわが身だ。決して対岸の火事ではない」と当時の創刊メンバーたちが発起します。人と人をつなぎ、わが町を活字で輪にする仕組みこそが038プレスなのだ。創刊の志を胸に刻み、まちを見続け7年。宮町は何が変わり、変わらなかったのか。038プレスは何を伝え活動するべきなのか。今号の巻頭特集は、新聞とテレビのジャーナリストとして活躍してきた2人の編集委員に海老一朗主筆(88)が聞きました。

【海老】東六地区、宮町商店街は仙台駅にも近く「東照宮」というランドマークを控え、マンションの新築などによって外国人も含め新たな居住者が増えています。宮町商店街はこれらの好機をどのように生かしていくべきでしょうか。

【三岡】人口が増えているという新たな与件を踏まえ、まず宮町をどのような街にしたいのかを考えてはどうでしょうか。例えば038プレスとして「宮町を防災の街にしよう」という目標を決めて、地域の人々で共有できるアイデンティティーを育てていく。その活動に商店街も加わってもらえば、結果として商店街も活性化していくと思います。商店街は地域の公共財であり、発信力がありますから。

【和田】宮町に住んでいる方は歴史ある「宮町地域」に住んでいるという意識は持っていますが、宮町商店街で物を買おうという意識はそんなに高くないのが現状だと思います。普段利用する商店がもっと出来ることが第一で、それに加え遠くから人が訪れる専門的な商店もあるような商店街に出来れば、商店街全体が良くなり、まちの活力につながっていくと思います。人口が適度に増えていくことは、そうした環境を作りやすくなりますので、良いことだと思います。

【海老】では商店街と住民の関わりはどうあるべきでしょうか。まずは、「防災に強いまち」「国際交流のまち」など、宮町をこんなまちにしたいという目標を住民自らが設定し、醸成していく。その過程で地域が持つ人的資源や自然的資源に、潜在的に発信力や情報力を持っている商店街も加わる。その結果として、商店街と住民の重層的な関係が築かれ、地域になくしてはならない真の公共財になることでしょうか。

ました。10年以上の歳月が流れ、全国では少子高齢化が叫ばれる中、東六・五城学区は人口が増加し、外国人が多く暮らす街と様相もだいぶ変化して参りました。提言書には「まちづくり組織」の提唱や法人化も視野に入れるという提案もあり、今回の新春座談会の意見も踏まえ、見えてきた038プレスの課題を整理して今後の活動に生かして行ければと考えます。

### 人物紹介

**三岡 昭博 編集委員**  
2010年4月から2年間、毎日新聞仙台支局長として勤務するかわら、038プレスの記者やアドバイザーとして参加。東日本大震災時には東六地区の避難所運営を記録した連載記事「小さな握り飯」(全10回)を毎日新聞宮城県内に執筆。現在は毎日新聞社東京本社事業本部総務・企画部長として活躍中。

**和田 政宗 編集委員**  
NHKの記者兼キャスターとして仙台に赴任。NHK在職時より宮町に在住、038プレスのメンバーとして参加。その後、政界に転じ、現在は参議院議員として活動中。現在も宮町に居住し、宮町商店街振興組合の会員としても活動中。

※1 まちゼミ

商店主が講師となり、専門知識やプロならではのコツなどを無料で提供する少人数制のゼミナール。お店の特徴、店主のこだわりや人柄を知って頂き、お客様との信頼関係を築き、お店のファンを増やすことを目的とした取組。

記事 水沼幸三

ませぬね。

【和田】038プレスはもっと地域の結節点となるような仕掛けが出来たら良いと思います。魅力的な地域活動が多くなっていけば、リーダー的に地域を引っ張っていく若手や子育て層の方も生まれるでしょう。隣の上杉地区では「上杉チャネル」という「おやじの会」が様々なイベントを企画し運営しています。038プレスという全国でも極めて珍しい独自運営の地域紙を生み出したので、ここを足がかりに地域の方をもっと巻き込む仕掛けが必要だと思います。

【海老】宮町商店街の状況をお聞かせ下さい。

【佐藤理事長】宮町商店街振興組合が発足した前年の昭和61年の商店会は、98店舗が加入。現在は85店舗が加入しています。業種内容は、物販店が、激減(87店舗から48店舗)しており物販以外では、病院・不動産・リフォーム・塾などで構成されています。

商店街活動としては、地域貢献(子供達への教育や治安は、保たれていると感じておりますが、今後は、まちゼミなどを企画することで個店の魅力を発信し地域の元気に一役買いたいと考えています。

現在、高齢化に伴い閉店され脱会する店舗もありますが、若い世代で加入される店舗もあり組合員数は増えています。そのことは、商店街が活性化し地域の発展にもつながるものと期待しています。

### まとめ

【千葉編集長】私達は、平成16年度〜17年度、東六地区個性ある街づくり計画策定委員会による提言書をもとに、桜と音楽を愛でる会や宮町こんこんコンサート、038プレス他多様な街づくりの事業を実行して参り

【海老】小売店を取り巻く環境変化等により商店街の集積度が落ち続ける私たちのまちに、新しい商店の誘致や町の将来を担う人材育成は今後どのように進めるべきでしょうか。

【三岡】地域のリーダーは誰かが育成するというより、一緒に考え、行動する中で育つものでしょう。038プレスを土台に地域の課題や困りごとを集約し解決に向け取り組むような仕組みづくりも面白いと思います。その時のポイントは、企業や学校、商店街など幅広い人たを巻き込むことです。

【和田】宮町という街の全体のコンセプトがあれば、住民も商店街も方向性を定めて進むことが出来ると思います。038プレスは宮町について考えるきっかけとなるものであり、038プレスもまちづくり全体を地域の方々と考えるために、そうした仕掛けをどんどんしていきたいかなど街を引っ張るリーダーが出てくると思います。

【海老】まちづくりには「よそ者、若者、ばか者」が必要と言われて久しいです。そうした人材を育成する場や行動を起こす組織が、038プレスではなかったかと思えます。この先の方向性についてご意見をうかがいたいと思います。

【三岡】二つのことを提案したいと思います。一つは038プレスにもっと付加価値を付けることです。038プレスが地域のプラットフォームになり、「038プレスに聞けば、宮町のことは何でもわかる」という存在になれば、多くの情報も入ってきます。もう一つは、038プレスを「読む媒体」にするために、「書きたいことを書く」だけでなく、「地域の人々が何を読みたいか」の視点を持つことだと思います。書き手と読み手の双方のメディアにするため、住民アンケートをしたり投書欄を設けたりといった努力も必要かもしれ

# 第26回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回のツアーは、空堀丁に新登場したジンギスカンの店とスポーツジムを巡りました。そこで食やスポーツを通して、街に元気を届けようと頑張る人々に出会いました。

楽しみながら、健康な体づくりを

## ファイティングラボ仙台

「格闘技」と聞くとなにやら怖そうな印象を感じますが、中に入ってみると仕事帰りのサラリーマンやOL、学生などが気持ちよさそうに汗を流している様子が窺えます。ファイティングラボ仙台は平成28年6月にオープンして現在は350人も会員がいるようですが、その95%が初心者で女性も半数近くに上るとのこと。

「格闘技を通じて、皆様の健康な体作りができればと願っております」と語るのは店長の安齋さん。中学生から60代まで幅広い層がダイエットや体力づくり、ストレス発散など、様々な目的で通ってきているそうです。

仙台駅から6分の好立地に月謝8千円で通い放題。ウェアの貸し出しやロッカー、シャワー設備等も充実しており、手ぶらで通えるのも魅力です。今なら「まるまる0円キャンペーン」として入会金及び月謝2カ月分が無料とのこと。「近頃身体がなまってきているな…」とお感の向きは気軽に門を叩いてみてはいかがでしょうか？

営 平日13:00～23:00、土曜12:00～18:00、日曜10:00～16:00

休 なし 住 青葉区花京院2-1-54ダイワ旭ビル201、301

TEL 022-797-7745 HP <https://fkdj.net/dojo/sendai/>

駐車場 なし



「038プレスを見た」で無料体験  
キャンペーン適用(1月末日まで)

本場生ラムジンギスカンの美味しさを仙台で

## 北海道の味 吉丸

「仙台の味といえば牛タン、北海道ならジンギスカン。道産子のソールフード、ジンギスカンで、生ラム肉のおいしさを味わってください」と店主の吉田達夫さん。函館生まれの吉田さんが札幌で寿司店を開いたのは26歳の時。その後、跡継ぎの息子さんの希望で、ジンギスカンをメインの店に変えると、千歳市や山形市、仙台市宮城野区へと事業展開し、さらに昨年3月空堀丁へ移転しました。コボスタ近くにあった前の店には、楽天の選手達がよく通って来たということで、楽天時代のマー君の直筆サインをはじめ、選手達のサインが壁に貼られています。

北海道産生ラム肉は、注文の都度切り立てを提供。柔らかくクセのないラム肉は絶品、焼きすぎに注意しながら自家製ダレに絡めてどうぞ。ジンギスカンだけでなく、お寿司も味わえます。

営 11:30~13:30 ランチ 800円・980円(生ラム、地鶏等の焼肉とごはん、味噌汁)  
17:00~23:00

休 月曜

住 青葉区錦町2-3-7 TEL 0120-399-440 022-796-4409

駐車場 あり



食べくらべ特盛  
1人前1,200円(写真は2人前)



店主 吉田達夫さん

「038プレスを見た」で  
1名につき1ドリンクサービス  
(1月末日まで有効)



### 次回のご案内

今回は右の2店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、またはFAXでお申込みください。

- ①花京院市場 宮町店 (農家直送・産直野菜)
- ②バナ スル ジャンプ (ステーキ・ハンバーグ)

メール info038press@gmail.com  
FAX 022-223-7988

日時 平成30年1月27日(土) 15:50～17:40  
集合場所 15:45 我流久留米らーめん 麵屋か〇前集合  
会費 1000円(飲食代実費分)

## 福岡の事例から 宮町を考える

宮町の商圏エリアである2つの小学校区(東六・北六)の世帯数は約12400世帯。少し前のデータではあるが、平成25年度の人口増加率で見ると、平成16年比で17%増(東六地区)、6.4%増(北六地区)と非常に高い伸びを示しており、仙台市全体の平均値3.9%を大きく上回っている。両地区とも年齢構成は30代が最も多く(18.8%)、20代〜40代で全体の48.4%を占めている。人口が増えている、ということはそれだけの「サイフ」がこの地区に集まっているということであり、この地域は人口減少に苦しむ大都市の中で大変恵まれた環境にある。

一方で、そういった地区は大手のターゲットにもなりやすく、ネット通販の影響も大きい。資本力の小さな店は、大手ができない隙間を狙ってファンを着実に積み上げる戦略をとる必要がある。仙台は大手資本の草刈り場ともなっており、3割の大手の企業数で仙台の7割の売上を稼ぎ出している。残りの3割の売上を7割の地元企業が争っている。地場企業がもっと頑張らねば、仙台は豊かにはなれないのだ。

仙台では震災後起業熱が高まったが、上手に育て上げる仕組みとセットではじめて効果が生まれる。本来は起業前から商売のイロハをきちんと学べる場が必要であり、起業してからも様々なサポートをする拠点(インキュベーション施設)の重要性が認識され始めている。

福岡では、天神の大名小学校が廃校になったが、

まちづくりは、商店街活性化だけに留まらない。地域住民がゆるやかにつながり合いながら、それぞれの持つ思いや悩みが共有化され、豊かな時間が過ごせる場づくりが重要だ。福岡市の隣町那珂川町のまちづくりプロジェクト「ことば那珂川」では、住民の意見をもとに子育て世代の居場所づくり、サークル、セミナーなど様々な事業を展開している。「ことば」とは変わった名前であるが、「コト」を動かす、「場」を創り出す、といった意味がある。福岡大学とも連携し、積極的に学生たちもまちづくりに参加している。



起業家が集まる拠点「Growth Next」

Growth Nextというインキュベーション施設としてリノベーションして活用している。起業に関する専門性が高い団体が運営しており、セミナーや種々の相談窓口、人材マッチング、ワーキングスペース提供など、起業家を育てる仕組みが備わっている。学校の雰囲気を残しつつ、洒落た施設として、起業家予備軍も含め多くの市民が集う場にもなっている。新たな企業が生まれてくることにより、まちが活性化していく。そのようなコトづくりと場づくりが重要だろう。

福田さんは非常に穏やかな性格の中にも、きちんとしたまちづくりのコンセプトを持たれており、人の話を上手に聞きながら、周りを巻き込んでいく才能があるのだろう。「地域の行事に参加する住民」から「自らも考え、意見を出し、仕掛ける側に回っていく住民」が増えることがまちの活性化につながる。

こういった人材を受け入れる地域の懐の深さや、まちづくりのアイデアに反応する地元の風土がかみ合ったときにまちづくりが動き出す。私たちも他地域からもっと多くのことを学ぶ必要があるのではないだろうか。

(針生英二)



那珂川町のまちづくりの仕掛人 福田氏

りに参画している。中心メンバーの福田忠昭さんは2年ほど前にこのプロジェクトを立ち上げた。那珂川町にとってはよそ者である。ことば那珂川は来年にはまちづくり会社として株式会社化する計画だという。驚いたことに、僅か2年間で20名近い地域のリーダーを発掘・育成してきた。

言葉の魔力

今さら衆議院選挙でもないが、言葉には力、というより魔力があるなとつくづく感じた。安倍政権を沈没させるかに思われた「希望の党」を急失速させた、小池百合子東京都知事のある「排除」発言である。



「排除」はどちらかと言うと否定的な言葉だ。でも、使われる状況とタイミングによって、語り手の勇気や先見性を際立たせたりする。ところが、今回はそうはならなかった。

第27回 ねえねえ浄圓房さん、学校で仙台の町は河段丘の上に出て来ていると教わりました。そうなんじゃ、東京スリバチ学会の皆川典久さんの近書、『東京「スリバチ」地形散歩2』には、「河段丘を刻む谷仙台市」として仙台が紹介されているぞ。

仙台は河段丘の街 町段丘と中町段丘の両段丘面に位置しておる。すこーい！河段丘が近くでみえるんですね。そうなんじゃ。勾当台公園を境として北側の上町段丘の上に立つのが宮城県庁。

仙台東照宮 今年のスケジュール

初詣 日時：平成30年1月1日(月)～3日(水) 1月1日は午前0時から
どんと祭 日時：平成30年1月14日(日) 東照宮御神火『火入れ式』 15時(火入れ) 22時30分(消火)

節分祭・撒豆式 日時：平成30年2月3日(土) 撒豆式午後3時半から(約10分間)
東照宮御祭礼 日時：平成30年4月15日(日) 平成30年は東照宮の御鎮座365年の年にあたり、現在5年に1度斎行されている神輿渡御が行われます。

お問い合わせ先 東照宮社務所 仙台市青葉区東照宮1-6-1 022(234)3247 http://s-toshogu.jp ※公共交通機関をご利用ください。

仙台市青葉消防団宮町分団が【二連覇】達成

平成29年9月3日(日) 広瀬川牛越緑地運動公園にて開催された平成29年度青葉消防団特別点検において、仙台市青葉消防団の全10分団中、青葉消防団宮町分団が総合評価において最優秀に選ばれ、二連覇を果たしました。

仙台市青葉消防団宮町分団『消防団員』を大募集！ サラリマンや自営業など仕事を持つ方、学生や女性も入団可能です。

【入団ご希望のお問合せ先】 仙台市青葉消防署 022(234)1121 又は宮町分団山分団長 090(2847)8136まで
仙台市青葉消防団宮町分団の活動の様子は下記のフェイスブックページをご覧ください。 URL https://m.facebook.com/SENDIAOBA.FIRECORPS.MIYMACHI/



仙台の町名の由来④& お宮町グラフィティ

ホテル白萩のある東西の通りは、西端を同心町通、東端を東六番丁とする道路と町名で、江戸時代より文字通り細く長く続くので長丁と呼ばれ、侍が住んでいました。
江戸時代の長町宿を継承した長町を昭和3年に編入した後、市電が開通すると、同じ路線上に長町と長丁が存在し紛らわしいということで、昭和10年に新しい町名の公募があり、一等となった「錦町」に町名変更されました。

長丁にあった蛇屋さんこと「甲斐津強精堂」 筆者が学生だった頃、錦町方面に向かう市電に乗った折には、友人らと連れ立って市電を降り、蛇屋の店先にある籠の中で、蝮がとぐろを巻く枝を肝試しよろしく恐る恐る覗き込んだものでした。



学校行事予定 (2018年1~3月)

\*なお、2017年12月上旬での予定のため、変更になる可能性もあります。ご了承ください。

◆東六番丁小学校	
1月23日(火)	ドレミの森集会 体育館
1月23日(火)~26日(金)	校内書き初め展 各階廊下
3月17日(土)	スクールバンド卒業コンサート 体育館
3月20日(火)	卒業式 体育館

◆五城中学校	
3月10日(土)	第69回卒業式 体育館

◆北六番丁小学校	
2月22日(木)	授業参観・懇談会(下学年・特別支援学級)
2月23日(金)	授業参観・懇談会(上学年)
3月16日(金)	卒業式 体育館

◆常盤学園高校	
1月10日(水)	推薦入学試験 本校校舎
1月24日(水)	一般入学試験A日程 本校校舎
1月26日(金)	一般入学試験B日程 本校校舎
3月1日(木)	卒業式 松良記念館大ホール

何気ない風景にだけ込んだ『まちのこコマ』

Omiyamachi ほっとすペーす No.14

今号の表紙画 『北六小の和・話・輪 フェスティバル』



町内会をはじめ防災、防犯、各種公共団体を小学校に一堂に招き、子どもたちと大人たちが世代を越えた交流をします。今年で4年目になり、地域の輪がますます広がっています。(がんじ)

クイズです。仙台東照宮の狛犬はどれでしょうか?初詣やどんと祭の際に改めてご覧ください。ちなみに対となる二体のうち口を閉じて耳を立てている方を「狛犬」と言い、口を開けて耳を寝せている方は「獅子」と呼ぶのだそうです。



©料々屋

ペットにまつわるワンダーランド

【第10回】

動物から学ぶ。今年の干支 犬について

家畜と言えど牛やブタやニワトリなどを思い浮かべる方が多いでしょう。家畜とは人間が食料や動力として利用するために、野生動物を改良してつくりだした動物の事を指します。

犬は、家畜のひとつに分類されます。犬は、ペット(コンパニオンアニマル)という位置づけが一般的ですが、今でも盲導犬や聴導犬、介助犬、警察犬など使役動物としても活躍しています。そして犬の歴史をみると、家畜として飼われたのは一番古く、1万2千年前と言われています。人間と家畜と言った関係が犬から始まり、安全や食の確保ができるようになり、私達は豊かな生活が送れるようになりました。

野生動物が家畜化されると脳重比(体重に対する脳の重さ)が小さくなります。理由は、食べ物を探す苦勞や敵に襲われる心配が無くなるためです。

犬の先祖はオオカミと言われ、犬の脳重比はオオカミと比較して小さいことから、家畜となったことがわかります。またDNAもオオカミと非常に近いことから、それが裏付けられました。苦勞や恐怖への対応が、オオカミの脳の働きを活発にしてくれたのです。

今は安心・安全な世の中ですが、多くの悩みを解決していくことが生きている証です。解決できた時の喜びは大きいものです。

地域の人々と共に悩みを解決しながら犬(自然や動物)と触れ合いを通して豊かな一年を過ごしましょう。

ペットショップさまん佐藤広行

※TBCラジオ(1260kHz)

Goodモーニング テイクリック

「ペットにまつわるエッセイ」(第2・第4金曜 朝8時30分からの約8分間)に生出演中!

◆SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様  
仙台市青葉区中央1丁目3-1  
TEL:022-723-8000



ABC CORPORATION 様  
株式会社エービーコーポレーション  
仙台市青葉区宮町3丁目8-33 TEL:022-217-0033



西松建設株式会社  
北日本支社 様  
仙台市青葉区大町2-8-33  
TEL 022-261-8161



HARIU Communications CO.LTD 様  
ハリウコミュニケーションズ株式会社  
本社:工場 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西前2番12号  
TEL 022-288-5011(代) FAX 022-288-7600(代)  
URL http://www.zundantel.co.jp  
●営業所:東京

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

宮町に住んでいると、山形は「お隣さん」と改めて実感した。2018年春は、もう一足伸ばして山形市の桜の名所・霞城公園に行ってみようか。桜を愛でながら山形の地酒を一杯! ができるのは電車の旅ならではだ。(末吉)

編集後記

11月の休日、朝起きたら快晴だったので、突然、山寺の紅葉を見に行こうと思いついた。JR東照宮駅までちよつと歩けば、あとは電車任せだから、気軽にに行ける。

1時間ほど到着。案の定、山寺駅は観光客であふれていた。山登りは、奥之院(如法堂)まで、ゆっくり歩けば往復約2時間だが、写真を撮りながら急ぎ足で登り、1時間余りで下山した。

途中、明らかに80歳は過ぎているだろうと思われる人もいた。抱っこひもで赤ん坊を抱えながら登る若いお母さんもいた。何もそこまでして登らなくてもいいんじゃないの?と思っただけ、余計なお世話だろう。

期待が大きかっただけに、紅葉はいまひとつという感じだったが、秋晴れのもと、いい汗をかいた。

宮町に住んでいると、山形は「お隣さん」と改めて実感した。2018年春は、もう一足伸ばして山形市の桜の名所・霞城公園に行ってみようか。桜を愛でながら山形の地酒を一杯! ができるのは電車の旅ならではだ。(末吉)

編集メンバー

- 主筆 海老一朗
- 編集長 千葉富士男
- 編集委員 今泉清二
- 岩瀬弘一郎
- 加藤久枝
- 鹿野恵美子
- 菊池ゆう子
- 木村くみ
- 佐々木敦斗
- 佐藤広行
- 佐藤正則
- 佐藤靖
- 穴戸俊彦
- 高橋孝敏
- 顧問 足利允鴻
- アドバイザー 内海睦夫
- イラスト がんじ
- 永田良治
- 針生英一
- 三岡昭博
- 三嶋伸一
- 水沼幸三
- 和田政宗 (50音順)

038 プレス info



ホームページ